

目 次

I. 総合研究報告

ギャンブル等依存症の治療・家族支援に関する研究----- 1

研究代表者 松下 幸生

(独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

II. 分担研究報告

1. 治療プログラムの効果検証 ----- 72

松下 幸生 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

2. 精神保健福祉センターにおける回復プログラムの効果検証 ----- 135

白川 教人 (横浜市こころの健康相談センター)

3. 自助グループや民間支援団体への支援のための課題抽出 ----- 159

森田 展彰 (筑波大学・精神保健学)

4. 治療効果判定ツールの再検査信頼性と結果フィードバックの効果研究 - 219

神村 栄一 (新潟大学・人文社会科学系)

5. ギャンブル障害における精神科併存症の臨床的意義

—CBTの効果検証研究において----- 221

宮田 久嗣 (東京慈恵会医科大学・精神科)

6. 簡易介入の効果検討 ----- 234

宋 龍平 (岡山県精神科医療センター・診療課)

7. 治療プログラムおよび家族支援の研修会の実施----- 236

松下 幸生 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

8. ギャンブル障害の連携マニュアル作成-ニーズ調査とツール作成----- 247

佐久間寛之 (独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター)

III. 研究成果の刊行に関する一覧表 ----- 260